

早期景気観測調査

および付帯調査

【6-7月期 調査結果概要報告書】

平成24年8月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成24年7月18日(水)～31日(火)
4. 調査対象： 当所会員 165事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 回収数： 137（付帯調査：114）
7. 回収率： 83.0%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【6－7月期の動き】

業況DIは悪化。先行きも力強さに欠ける

6－7月期の全業種総合の業況DIは▲30.9と、前期から10.1ポイント悪化した。とりわけ、卸売業・建設業において業況が悪化しており、製造業と小売業が全体の業況を下支えしている構図となっている。

建設業においては、公共工事の減少に伴う競争の激化や、民間工事も低迷しており、受注環境が悪化している。卸売業においては、復興需要の反動や価格引き下げ要請等により、食品・繊維関係で業況が悪化に転じている。

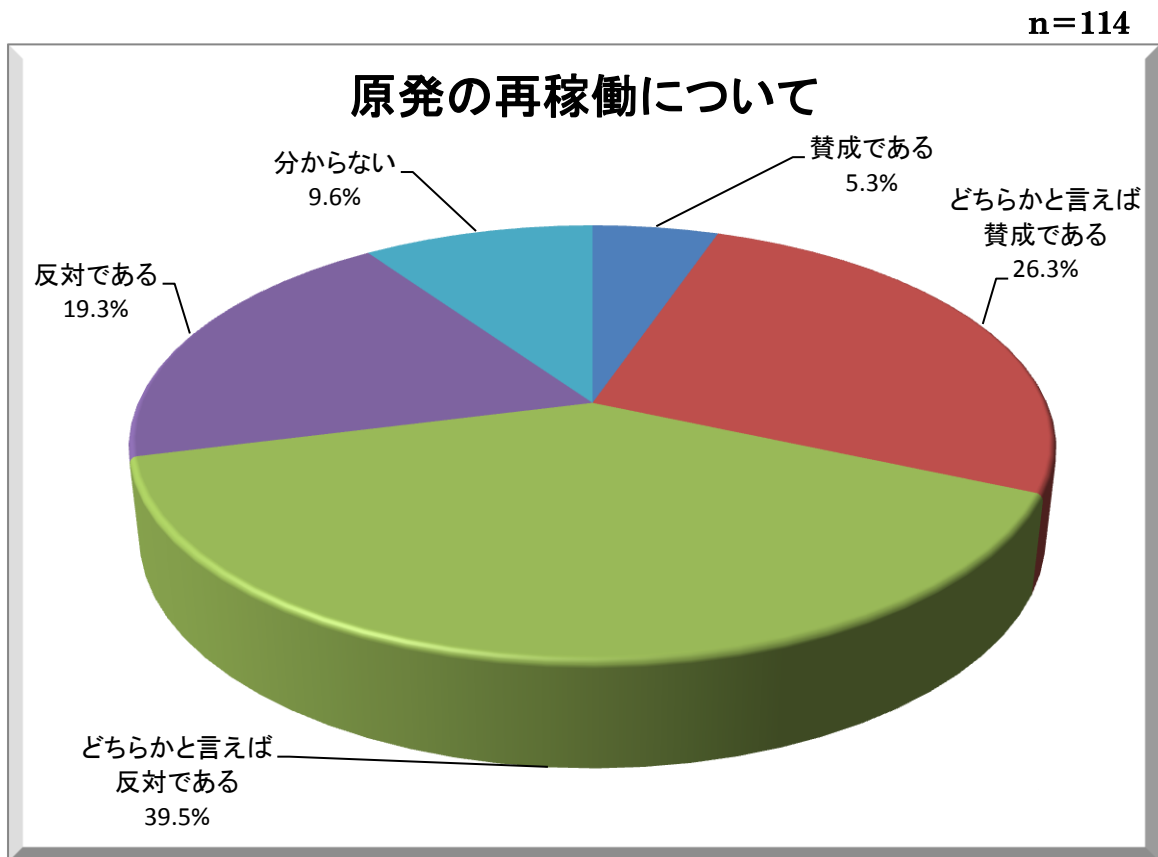
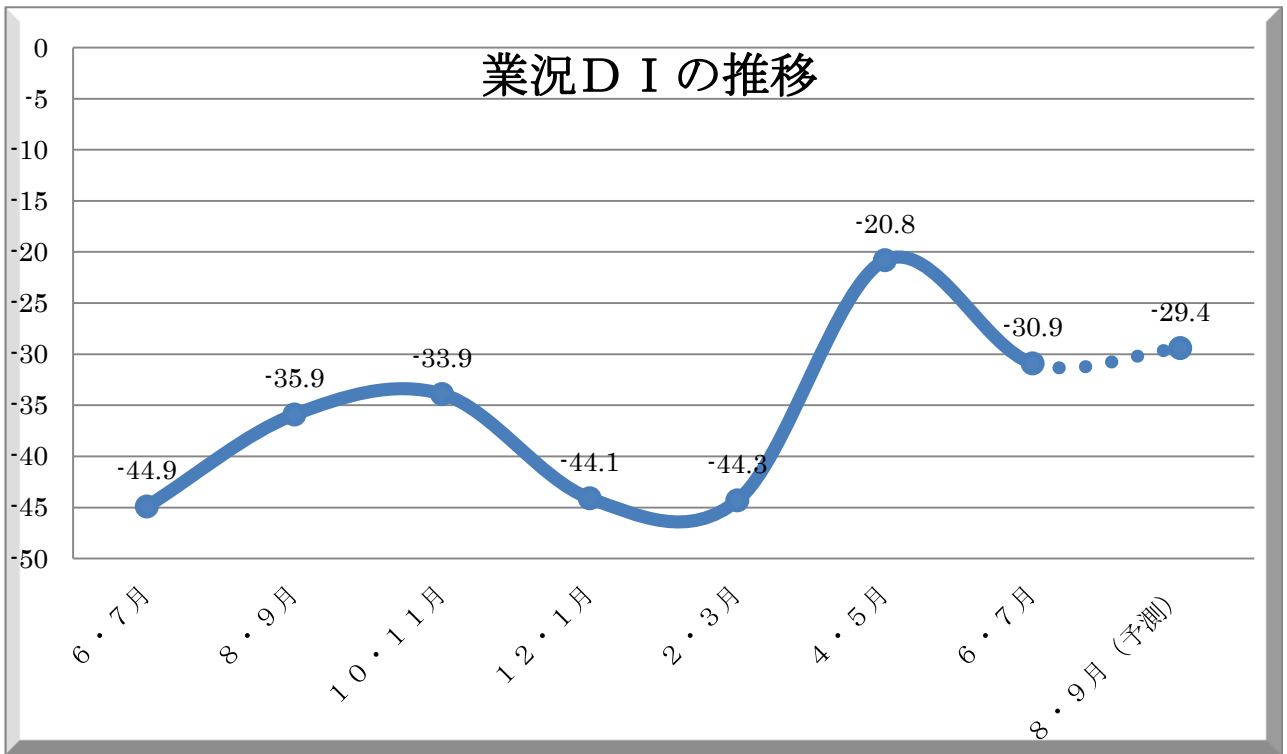
今後の見通しに関しては、先行き業況DIが▲29.4（今期比+1.5ポイント）となっており、比較的好調な製造業と小売業の業況に支えられ、若干の改善があるものと予測される。しかしながら、電力料金の値上げに伴うコストアップや消費増税議論、欧州金融不安を背景とした海外経済の減速等、好材料に乏しく回復への力強さは見受けられない。

【付帯調査（原発の再稼働について）】

原発再稼働賛成 3割超


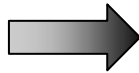

関西電力大飯原発の再稼働に際し、各地で運転を停止している原子力発電所の再稼働（運転再開）に関して調査を行った。本調査の結果、賛成である（5.3%）・どちらかと言えば賛成である（26.3%）を合わせると、31.6%が再稼働に賛成の意向を示した。しかしながら、反対派が6割弱を占めている現状もあり、経済界でのコンセンサスが形成されているとは言い難い。

極端な電力需給の逼迫を避けつつ、最適なエネルギーミックスを実現するため、短期・長期両面からの慎重な議論が求められていると言えよう。



◆全業種・業種別詳細






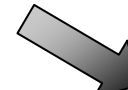

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
好転	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※ D I 値 (景況判断指数) について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆全業種総合

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲30.9	▲29.4	▲23.5	▲27.9	▲8.1	▲2.9	▲2.2

6-7月期の全産業の業況D I は、**▲30.9** (前期比-10.1ポイント) となり、回復傾向から一転して大幅な悪化となった。売上・採算D I とともに大きく悪化しており、従業員・金融貸出しD I についても小幅ながら悪化した。一方、仕入単価D I は改善傾向にある。

先行きに関しては現状維持を見込んでいるが、先行きへの不透明感や不安が払しょくできず、下振れする可能性がある。

◆ 業種別

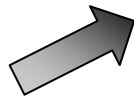

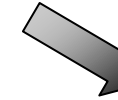
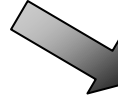
製造業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 1 2. 1	▲ 1 2. 1	▲ 6. 1	▲ 9. 1	0. 0	▲ 3. 0	▲ 6. 1

業況D Iは前期の大幅な改善を維持する形となった。しかしながら、仕入単価・従業員D Iが改善した一方、売上・採算・金融貸出しD Iは悪化に転じている。

業況D Iに関する今後の見通しについては、不変を予測している。

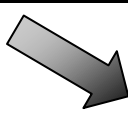
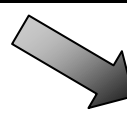
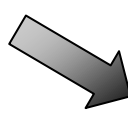
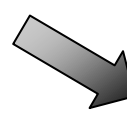
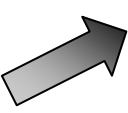
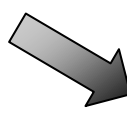
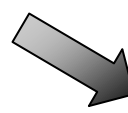
建設業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 5 6. 5	▲ 4 7. 8	▲ 5 2. 2	▲ 5 6. 5	▲ 1 7. 4	▲ 1 3. 0	▲ 4. 3

業況D Iは前期の急速な改善から一転して、大幅な悪化となった。売上・採算・仕入単価・従業員D Iともに悪化しており、金融貸出しD Iは不変であった。

業況D Iに関する今後の見通しについては、改善が予想されるものの、前期の水準を回復するには至らず、依然として厳しい業況が続くものとみられる。

卸売業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 34.8	▲ 43.5	▲ 8.7	▲ 13.0	0.0	▲ 4.3	4.3

業況D Iは4期連続の改善から一転して、大幅な悪化となった。仕入単価D Iは大幅に改善したものの、売上・採算・従業員・金融貸出しD Iは悪化傾向にある。

業況D Iに関する今後の見通しについては、更なる悪化が予想される。

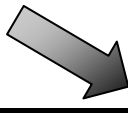
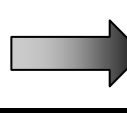
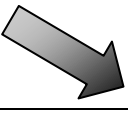
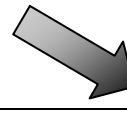
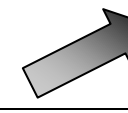
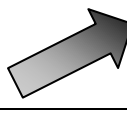
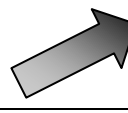
小売業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 37.1	▲ 31.4	▲ 40.0	▲ 37.1	▲ 5.7	0.0	0.0

業況D Iは2期連続の改善となった。採算・従業員・金融貸出D Iは悪化したものの、売上・仕入単価D Iは改善している。とりわけ、仕入単価D Iの改善が進んでいる。

業況D Iに関する今後の見通しについては、引き続き改善傾向を辿るものと予想される。

サービス業


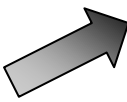
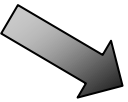
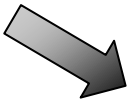
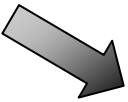
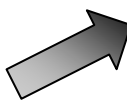

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 22.7	4.5	▲ 4.5

業況D Iは2期連続の改善から一転して、小幅な悪化となった。仕入単価・従業員・金融貸出D Iは改善しているものの、売上・採算D Iは急激に悪化している。

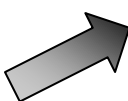
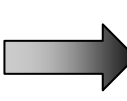
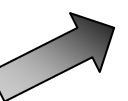

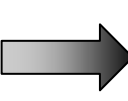
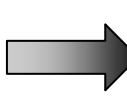

業況D Iに関する今後の見通しについては、不変を予測している。

◆ 業種別詳細

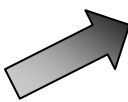

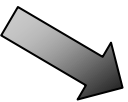
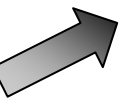
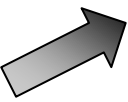
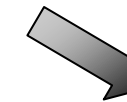

製造業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


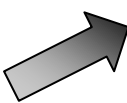
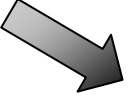
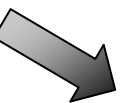
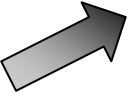
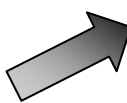
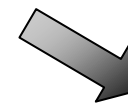
製造業（家具）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

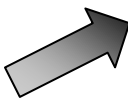
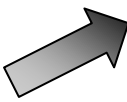
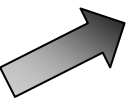

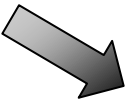


製造業（工業製品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

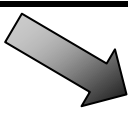
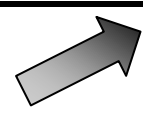
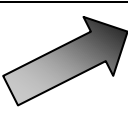
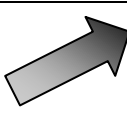
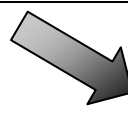
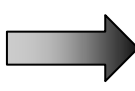
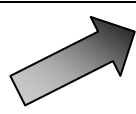
製造業（宝飾）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

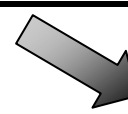
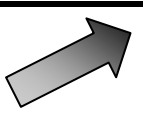
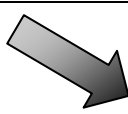
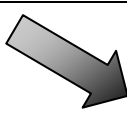
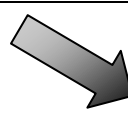

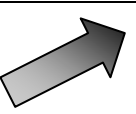
製造業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

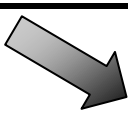
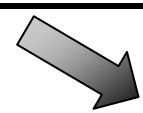
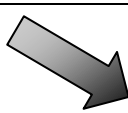
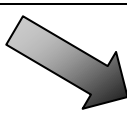
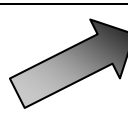
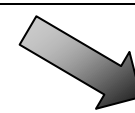
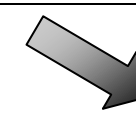
建設業（建築）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

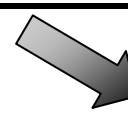
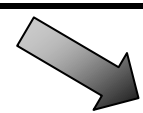
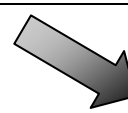
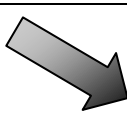
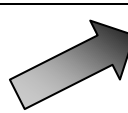
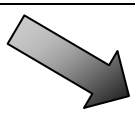
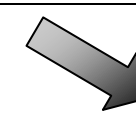
建設業（土木）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

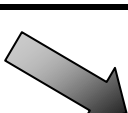
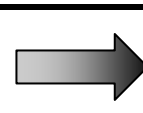
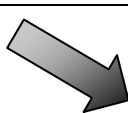
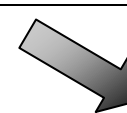
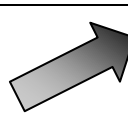
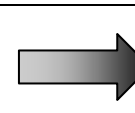
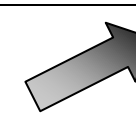
建設業（鉄鋼）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

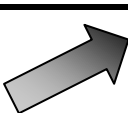
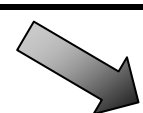
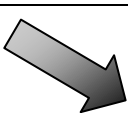
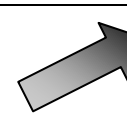
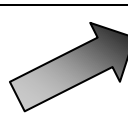
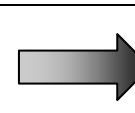
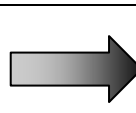
卸売業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

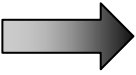
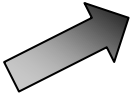


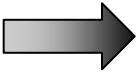
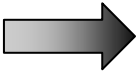
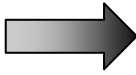
卸売業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

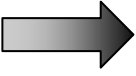
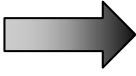

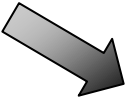

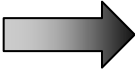

卸売業（その他）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

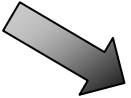

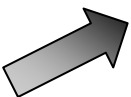




小売業（大型店）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

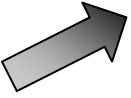
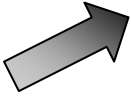
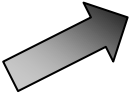

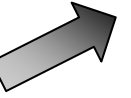

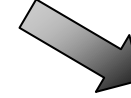
小売業（食料品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

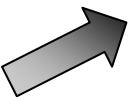

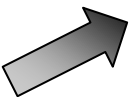
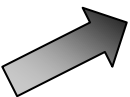
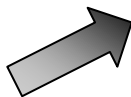

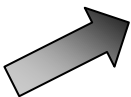
小売業（事務用品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








小売業（趣味・日用品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








小売業（家電）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						






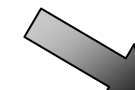

サービス (ホテル・旅館)

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業 (観光)

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業 (飲食その他)

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

製造業（食品）

- ・ 電力料金の値上げ、消費増税、光熱費の高騰が続いている。国・県・市は根本的なところで中小企業対策を何もしていない。
- ・ 甲州ワインのニーズは増加傾向と思われる。
- ・ 電気料金が事前説明の17%とは違い、26%の値上げになり納得できない。

製造業（家具）

- ・ 20年以上続いているデフレ経済、土地の値下がり。消費増税には反対である。

製造業（工業製品）

- ・ 円高、販売単価の下落。
- ・ 県内製造業の立ち上がりが遅く、多くの難題がある。県内製造業の成長が本格的に止まってしまった。

製造業（繊維）

- ・ 3月31日決算で、前年比5%減。
- ・ 国内需要が低迷し、価格も下落している。恒常的に厳しい状況。

卸売業（食品）

- ・ 震災後、外食産業の業況が悪い。
- ・ 今年は復興需要もなく、昨年より厳しい状況。原発周辺の品は、仕入れても全く動かない。
- ・ “食の減退”（消費者の買い控え）が起きている。
- ・ デフレが続いている。取引先からの価格引き下げ要請も強く、安くなければ売れない。

卸売業（その他）

- ・ 7～10月の夏期間が季節要因で厳しくなる。

小売業（大型店）

- ・ ファッション業種の伸びが以前より見られる。課題は、大店立地法である。
- ・ 価格訴求型店舗（企業）の増加。

- ・ 少子高齢化や人口減少、買い物弱者対策。

小売業（食料品）

- ・ 不況による外食の減少やライフスタイルの変化に伴うアルコール人口の減少他、マイナス要因にどう取り組むかが課題。

小売業（趣味・日用品）

- ・ イベントが多くなった分、賑やかな日が増えている。
- ・ 競合対策と長時間営業。
- ・ 全ての業界がデフレになってしまっている。
- ・ ネット販売の安売り。
- ・ 店舗全面リニューアルのため、閉店セールを開催。新店舗は、照明をLEDを変え、寝具・インテリア店に改装する。

小売業（家電）

- ・ 同業界で価格競争が激化している商品は価格破壊に近い。適正価格での販売が難しくなっており、経常利益に影響が出ている。

サービス業（ホテル）

- ・ 館内リニューアルによる顧客満足度のアップを図ると共に、利用客の増加を狙う。
- ・ 電力料金の値上げ。

サービス業（観光）

- ・ 燃料単価が前年同月比下落傾向も、電気料の値上がり等コスト増加要素が懸念。
- ・ 例年より観光客は少なく、週末に集中しているようだ。スカイツリーやオリンピックが影響しそう。
- ・ 大手施設はビジネス利用で忙しいようだが、小施設はスポーツ大会等の短期で利用される程度で忙しさはほとんどない。

サービス業（飲食その他）

- ・ とにかく、うなぎの仕入れ値の高さが異常。7月はやや上向きだが、採算としては悪い。
- ・ 極端に言えば毎日上昇していた仕入単価が、このところ一服している。うなぎが高価になり、顧客の買い控えが心配される。
- ・ 売上の低下、原料の高騰

- ・前年度は震災の影響と暴力団の事案で全体的に落ち込んだ。反面、本年度は好転している。

建設業（建築）

- ・公共事業の減少により、競争が激しい。
- ・建設業界においても、二極化が進んでいる。仕事の集まる所とそうでない所の差が激しい。また、若い人財が不足しており、技術職が少ない。
- ・受注高の拡大、古い経営からの切り替え。

建設業（土木）

- ・建設業界は一番苦しい時期。公共工事が減少し、民間工事も経済の悪化で受注が最悪。
- ・企業最低賃金より生活保護受注額の方が高いことが問題。生活保護は、現状にあった率で低くする必要がある。

建設業（鉄鋼）

- ・受注環境の悪化。

